

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 219 号	氏名	與座 嘉康
学位審査委員	主査	河野 茂	
	副査	青柳 潔	
	副査	永安 武	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、従来評価が困難であった日本人 COPD 患者の ADL を評価する方法を確立しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 事前に準備した複数の評価項目のうち、日本人 COPD 患者において理学療法士が必要と考えた項目で、国際標準の息切れスコアである MRC スコアと相関したものだけを残した ADL-D スケールを確立した。その評価の妥当性を客観的な運動耐容能の指標である ISWT や世界的に広く使用されている健康関連生活の質の評価法である SGRQ と相関をみた研究手法は妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 作成された ADL-D スケールは ISWT と SGRQ と強く相関し、また 15 項目という少ない質問項目のため患者の負担も少なく、多人数の患者にも施行可能であり、今後このスケールを用いた COPD の ADL 評価の進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は COPD における ADL の評価法の確立に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			